# 西海市総合教育会議 議事録

招集年月日	平成29年7月27日		
招集の場所	大瀬戸コミュニティセンター 2階第1会議室		
開会及び閉会	平成29年7月27日(木) 開会 午後1時10分 閉会 午後2時30分		
会議構成員の氏名及び出欠の状況	市長	杉澤 泰彦	出席
	教育長	中小路 和久	出席
	教育長職務代理者	北島 淳朗	出席
	教育委員	川南 まつみ	出席
	教育委員	寺本 温	出席
	教育委員	福田 郁代	出席
	職務のため出席した者の職氏名	教 育 次 長	中島 義則
		教育総務課長	田口春樹
		学校教育課長	大坪 広弥
		社会教育課長	山本 誠治
		総務課長	山添 秀士
		総務課行政班長	林 浩之

#### 第2次西海市教育大綱の確認について

# 会議に付された事件及び内容

基本政策1「生きる力をはぐくむ学校教育の実現」について

その他

### 会議の経過及び結果

## 総務課長

#### (開会)

開会に当たりまして、杉澤市長より開会のご挨拶をお願いします。

#### 市長

皆様、こんにちは。西海市の杉澤でございます。平成29年度第1回総合教育会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

教育委員皆様方にはお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

皆様には、日頃から本市の教育振興に御尽力を賜り、重ねて感謝申し上 げます。

さて、私が5月1日に4年間の西海市の舵取り役を担わせていただいてから、早くも3ヶ月が過ぎようとしております。市民の皆様からいただいた温かいご支援に感謝し、これからも市民の目線に立った市政運営を行ってまいります。

本日の協議事項は、昨年度策定いたしました「第2次西海市教育大綱」の確認等を行うこととなっておりますが、私が掲げております政策課題のうちの1つに、「教育政策の重点化」というのがございますので、子供達の基礎学力の向上というのが一つの課題になると思っております。

今日は私の教育に対する考えを踏まえ、皆様と一緒に教育行政について 協議していきたいと思います。

それでは皆様よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

#### 総務課長

市長ありがとうございました。

それでは皆様、お顔は御存知かと思いますけど、第1回目の総合教育会議でございますので、北島委員の方から自己紹介をお願いします。

#### 各委員

(各委員順次自己紹介)

#### 総務課長

皆様ありがとうございました。

本日の会議ですけど、一応メドといたしまして、2時45分までには終了したいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

それでは、早速議事の方に移りたいと思います。

1番目ですけど、西海市の教育全般についてということで、1項目目の「第2次西海市教育大綱の確認について」で、資料の方は市章があります第2次西海市教育大綱というのをお手元にお願いします。

#### (1項目目の内容説明)

委員の皆様方で何かご意見等ございますでしょうか。

昨年の確認ということになりますので、教育委員の皆様につきましては、 昨年この会議で大綱のことは決めていただきましたので、ご存知かとは思 います。

何もなければ次の事項に移らせていただきます。

続きまして、2項目目の「基本政策1」といたしまして、「生きる力をはぐくむ学校教育の実現」について、資料の方が「学力向上のための西海市の取組について」それと、「授業実践の視点」「全国学力・学習状況調査結果の比較」の補助資料となっておりますが、これを使いまして学校教育課の方から現状の取組み状況を含めましてご説明をお願いしたいと思います。

#### 学校教育課長

#### (2項目目の内容説明)

#### 総務課長

大坪課長ありがとうございました。

今、大綱の基本政策1の「生きる力をはぐくむ学校教育の実現」におけます「学力向上のための西海市の取組みについて」ということで、資料を使ってご説明いただきました。

皆様方から先程の説明に関しまして、何かご質疑等やご意見等がございましたら発言していただきたいと思いますが、何かございませんでしょうか。

#### ○○委員

今日は総合教育会議ということで、少し話しをお聞かせ願いたいと思っているのですが、先般の教育委員会制度の改革の後、西海市においては経過措置期間がありまして、初めて新教育委員会制度に則る形の新体制が出来た中で、今回のこの教育大綱自体が各自治体の首長さん、あるいは地域色を反映した教育方針といったものを作っていくということであると理解しております。そういった中で、現在の2次の大綱というのが前任の方が今の教育振興基本計画と整合したところで前年作られたものでありまし

市長

○○委員

て、そういった中でまず大方針という中での市長の考え方、今現在の教育 大綱に対する考え方も含めて話を伺えたらと思います。

今回の「第2次西海市教育大綱」につきましては、その中の「生きる力をはぐくむ学校教育の実現」についてということで、概要を読ましてもらいましたが、総論になりますので、これに何を加えたらというのは特にございません。学校教育の基本というのが、私の考えですけど、地域、ふるさとの歴史・文化というのをしっかりですね、そして、ふるさとを愛する心、これをしっかり身につけるということ。さらに将来的には、ふるさとを自分の言葉で伝えたり、プレゼンテーションできるようにしていくこと。まずそれが大事なことだと思っております。

ありがとうございます。引き続き質問ですが、先日、県の教育委員会主催というか、我々の勉強会がありまして、その中で来年度より随時実施されていきます、新しい学習指導要領の勉強会があったわけですが、そういった中でなぜその新しい学習指導要領、その背景というところでですね、はっきりと県の係の方が申されたのが、今後10年~20年で雇用者の47%の仕事が自動化されると。自動化されるというとやわらかい言葉でありますが、本来であれば失業者がそれだけ出るということです。

昨日の新聞でだったですか、2020年代前半にトヨタ自動車が全部自動運転にすると発表しておりましたし、過疎部においてはある意味、非常に明るい話でもあるのかもしれませんが、逆に子供達にとっては将来予測できないような環境あるいは社会の中でどう生きていくのか、本当に自立する力とか、あるいは創造する力というのが求められてくるのかなあというふうに思います。

そういった中で特に、市長も公約の中に掲げられていたと思うんですが、 やはり過疎部だからこそ高速通信網といったものをしっかり整備していか ないといけないということと併せて、今回ご説明にもありましたけれども、 西海市においてはICT教育というものを充実させていこう、あるいはモ デル校にも指定されているということで進められているというところで す。

そのあたりの整理状況とか、市長の考えに沿って、そういったところを さらに進めていくといったようなところを期待したいなと思っているとこ ろです。

市長

人工知能がこれから人口の半分近くの仕事をとっていくということを言われております。そういった中で、このICT教育というのが非常に重要になっていくわけですが、その一方でですね人間の心というものをしっかり育んでいかないと逆に弊害で、この社会の中で危険な状況になっていくのではないかと危惧を持っております。

それから高速通信網の件ですが、実は今学校教育課長の話を聞きながら、

学校教育課長

2ページに書かれております離島と本土間における遠隔授業という説明が ございましたけれども、この中で遠隔授業をするのにそれなりの通信速度 が必要であるということがございまして、それがちゃんと確保できるのか ということで、そのあたりはどうなんですか。

市長

現在はADSLの状況での電話回線で行っているところでございます。 現在先行して長崎市の方で、高島ですね、それと西坂小で回線を使ってやっている状況であります。内容的にはさらに光になれば安定してサクサクと授業ができるようになる。そういう状況で現在西坂小で遠隔授業を対応できているので、それから考えると十分対応できると考えております。

学校教育課長

こちらからいろいろお聞きしてよろしいですか。まず、補助資料1のところで8項目掲げられているわけですけれども、その6番目ですが、授業の中でと思うんですけれども、その中で「学習や規律やルールがあり」というところがですね、これを具体的に教えていただきたいということと、それから4ページの「キャリア教育の推進」というのがありますけれども、子ども未来創造事業ということで「ようこそ先輩」というのは、これは29年度以降の事業ということですか。まだ実績というのはないんですかね。まず「ようころ先輩」という事業ですが、これは実は昨年度で一回知れ

まず「ようこそ先輩」という事業ですが、これは実は昨年度で一回切れてしまっている3年計画で、さらに延長させようという事業です。これまで例えば、大崎高校の鳥海連志君に来てもらった学校があったり、そこでパラリンピックの出場の内容とかを話してもらったり、またはバイオパークの伊藤副園長さんにおいでいただいて、バイオパークの飼育員の話をしてもらったり、子供達のキャリアにつながる夢が広がる内容の授業となっております。

続きまして、授業実践の視点で学習規律のところですが、例えば学習している時に机の上に筆箱以外不要な物は出しませんとか、当てられたときはきちんと返事をして行うとか、そういう風に一つのルールをきちっとした上での学び方をしっかり育てるということでございます。

ありがとうございます。

ちなみに市長、さっきの質問なんですけど、光の整備なんですけど、だいだい何年ぐらいをメドに考えておられますか。

今それを調査中なんですが、今度の9月の補正ぐらいから予算に上げたいと思っております。総額で19億はかかるだろうと思っております。概算ですけどね。期間でいえば3ヶ年ぐらいですかね。

近隣市町では平戸市とか川棚町か波佐見町のどっちかだったと思いますが、そういったところも調査しながら、どういう風なやり方が西海市に1番合うのか考えていきたいと思います。とにかくスピード感を持ってやろうと考えています。

○○委員

先程、学校教育課長の方が、現在ADSL環境というのをおっしゃてい

市長

()()委員

市長

ているところが多いと思いますが、それでもADSLの10倍ぐらいのスピードが出る、昔の光のスピードぐらい。そういった面で、できるだけ高速であればあるほど、様々な実用がですね活用ができると思いますので、どこから整備していくということも重点的な優先的な順位を作っていくのも大事なのかなと思います。特に、お話があった離島です。離島というのは教育環境だけでなく生活環境という意味でも、例えば医療も今後どんどん遠隔治療とか診断とかですね、あるいは極端な話死亡診断もそこでという話も遠隔操作で看護師がいればできるとかですね。そういう制度改正も進むものというところでありますので、是非是非、どちらかというと過疎部を先に考えていくのも一つなのかなと。なかなか過疎に中央から物がこないというのがですね、我々にとって西海市に住んでいて、いろいろジレンマがあるところかなと思いますが、逆に西海市の中ではそういった情報が届きにくい、あるいは本当に困っておられるところから考えていただければ教育の面でも生活の面でも充実していくのかなと思います。

ましたが、例えば今、光が来ていないところは、同世代のLTEで対応し

市長 総務課長 教育長 ありがとうございます。

他に委員の皆様からご意見やご質疑等はございませんでしょうか。

先程、学校教育課長が説明してくれたんですけど、取り組みは他県や他市町に負けないぐらいしっかりと書かれてるんですね。それで、何故成果があがらないんだろうと考えた場合、一つは重点がないということ。私の今の意見で考えればICTとかの活用を重点にしてやる方法があるのというのと、もう一つ、資料2の5ページの学校の授業以外に平日2時間以上学習している中学3年生が全国差マイナス22ですよね。何故こんなに勉強しないんだろうと、そこから疑問を感じました。

市長

そうですよね。小学校の時は少し低いだけですけど、中学生になるとかなり開きが出ております。もちろん家庭学習は自発的にやるのが大切なんですけど、家庭学習に対する課題がどの程度出されているのかなというところもちょっと気になりますね。

学校教育課長

まず、基本は宿題なんですけれども、あとはそれぞれ各学校、特に中学生の場合は、必要なプリント類というのは学校によって違います。先程申しました、学習向上プロジェクトの中には、学習課題チームというのがございまして、その中で特に全国や県が作っている資料や課題とか、そういったものを参考にしながら、その中で一番厳しい状況のものを内容を少しずつ変えながら、子供達が取り組めるような内容にしております。

市長

課題がございますよね。課題に対するそれをやってくる、やってこない、 そこのあたりで学校と生徒の間で一定のルールが作られているのかなと感 じるんですが。宿題やってこなかったら、あまりゆるゆるでもいけないと 思いますし、それなりの何か手当てをする必要があるのではないかと思う 学校教育課長

んですが。具体的にその辺りはどういう状況ですか。

具体的に細かいところの把握がまだしっかりできていないんですけれども、宿題につきましては次の学習にかかわる内容等もありますので、やはり準備が出来ていないというと学習が進められないというのがあります。 学校によっては厳しい取り組みがあっているものと思っております。

今回あげている2時間という学習時間の中には、家庭だけでなくて塾に行っているとかいう部分も含めて捉えられているところでございます。都市部になると塾等に行かれている部分とか、そういったところでも差が出てくるのかなと感じております。また、部活動指導の最終的に終わる時間と、家に帰り着くまでの時間、その後の生活スタイルとかもあっております。ただこの内容につきましては、中学校3年生の4月の段階での調査となっておりますので、その後はおそらく受験に向けてさらなる平日の2時間以上の学習というのは指導がなされているものと思っております。

○○委員

私はこの件で勝手に分析したんですが、さっきおっしゃった4月の時点というのは、中学校3年生は、まだ部活を一生懸命やっている時期で、私は反対に平日中学校3年生が2時間も勉強している人が半分いるなんて、西海市の3年生凄いなと思いました。部活して帰れば7時、それから食事をして風呂に入って、ちょっとお友達とラインをやって、ドラマを一つ見て、それから2時間勉強すれば就寝が11時、12時になりますもんね。それでまた次の日と思ったら2時間以上している中学校3年生が45.2%というのは凄いじゃないかと思ったのと、幸いに西海市は高校が3校、それぞれ全部内容が違いますが、進学できる県立高校を3校も持っているので、それほど何か受験に対する中学生又は保護者の皆さんの、例えば佐世保市、長崎市に住んでいる方々と少し感覚といいますか意識が違うのかなと思ったりもするので、何とも言えない数字だなという分析をいたしましたが。

市長 学校教育課長 市長 〇〇委員 この全国差というのは、どこも3年生4月の時点の調査ですか。はい、そうです。

それでは条件は一緒ですね。

塾に通っている市内子供達は少ないと思うんですよね。全国ということで、市長は条件一緒とおっしゃってますけど、私もそう思います。ここよりも不便なところ、ここよりも田舎のところあるわけですよね。それから、2時間以上学習しているという長さじゃなく質の問題も考えなきゃならないのかなと思うんですよね。これだけで議論はできないと思うんです。ちょっと飛びますけれど、市長が先程、今こそ心を育む教育をと言われたのにホッとしました。勉強時間ではなく、心を育てている時間というのが日常生活の中でどれだけ位置づけられているんだろうか。それを心を育むを学校教育だけでなく、家庭教育、社会教育の中でどのくらい育むことが今

後できるであろうか、そこでやっぱり人と人とのつながりや地域とのつながりが固くなればいいと思うので、西海市の子供達を自信を持って大人が育てていけるような教育環境をこれから私達は整えていかなければいけないんじゃないかと思いまして、新市長に心を育む教育という面で期待したいなと思って話を伺っておりました。

総務課長

他に委員の皆様からご意見やご質疑等はございませんでしょうか。

何でも結構ですので。学力の向上に関して意見がある方はいらっしゃいませんか。

○○委員

補助資料3の中学校3年生の勉強の時間になっており、いろんな捉え方があるんだなと思っていますが、結果を見てみますと、多分長崎県21市町だと思うんですけど、驚くべき結果になっていると皆さんお感じになっているのではないかと思います。

もっと探究心を育む、そして学ぶ土壌を作ってほしいと思います。

○○委員

午前の会議で給食費の話においても感じましたが、経営の簡素化が必要だと思いました。ICTだと板書をしなくてもすむ。そういうのが進んでいけば先生の準備に時間がかからなくなる。必然的に休暇の取得や残業の削減にもつながっていきます。

それから教職員住宅も新しく出来ているので、ぜひ地元に住んでもらって地域の人と接してもらいたい。

総務課長

その他に何かないですか。

なければ最後の協議項目に入ります。

(協議項目3の説明)

「次回の協議項目は案のとおりと決定。」

「日程は10月24日(火)で決定。」

他に何かありませんか

○○委員

人口減少を考えた時に、西海市は特殊出生率は高いが子供の絶対数が少ない。地場産業の育成や教育との連携、キャリア教育が必要じゃないかと思います。そうすることで地元就職を増やし、人口減少に歯止めをかけることができるのではと考えております。

市長

私もキャリア教育は必要だと感じております。子供達が西海市に残って何かをしたいと思ってほしい。西海市の歴史・文化を学んでほしい。西海学の活用、例えば大瀬戸の人が中浦ジュリアンを語ることができるということが必要である。地域の融合ができれば、結果として学力向上につながるのではないかと考えております。

教育長

今日の会議では学習時間について多く語られましたが、西海市の子供達 は夢や志を持った人は多いんですよ。ただそれが漠然としているため学習 時間につながっていない。夢を持つことは大切なことであり、キャリア教育を充実させることによって、夢を実現させるには具体的にどうすればいいのかということを理解することで、学習時間向上につながるのではないかと考えております。

#### 総務課長

他になければ、以上をもちまして、第1回西海市総合教育会議を閉会します。

(閉会)